変容する聖地 伊勢

ジョン・ブリーン（国際日本文化研究センター教授）編

2016年５月刊行予定

▶A5判・320頁／定価：本体 2,800円（税別） ISBN978-4-7842-1836-3

不変の聖地か／変容する聖地か――

第六二回式年遷宮が行われた平成25年（2013）、伊勢神宮にはじつに900万人に上る参詣者が訪れたという。まさに21世紀の国民的 「聖地」といえるだろう。

今日、伊勢神宮は古代から変わることなく受け継がれてきた聖域というイメージで語られる。しかし、その神宮像はそれほど時代をさかのぼるものではなく、神宮が移りかわる時代のなかで大きく変貌を遂げてきたことはあまり語られていない。

本書は国内外の一線の研究者による古代から近・現代にわたる論考16編を収め、伊勢神宮の変容の歴史をひもとく。

∞内容目次∞

序章　伊勢神宮―変容の歴史―　ジョン・ブリーン

Ⅰ 古代

考古学からみた伊勢神宮の起源―ヤマト王権の伊勢支配―　山中 章（三重大学名誉教授）

伊勢に見え隠れする仏教 七六六～七八〇　ヘルマン・オームス（カリフォルニア大学ロサンゼルス校歴史学部名誉教授）

『延喜式』制以前の伊勢神宮―八～九世紀の内宮と外宮をめぐって―　小倉慈司（国立歴史民俗博物館准教授）

Ⅱ 中世

中世伊勢と仏教　ウィリアム・M・ボディフォード（カリフォルニア大学ロサンゼルス校宗教学部教授）

夢告と観想―鎌倉時代における僧たちの伊勢参宮―　伊藤 聡（茨城大学人文学部教授）

地中の仏教―伊勢神宮の地下からの眺望―　D・マックス・モーマン（コロンビア大学バーナードカレッジ アジア文化学科教授）

混沌の始めを守る―度会行忠の混沌論と徳政―　マーク・テーウェン（オスロ大学文化研究・東洋語学部教授）

Ⅲ 近世

復活か創造か―天正一三年の神宮式年遷宮をめぐって―　西山 克（関西学院大学文学部教授）

読み替えられた伊勢神宮―出口延佳、本居宣長を中心に―　斎藤英喜（佛教大学歴史学部教授）

御蔭参りにおけるお札降り現象―近世庶民の伊勢信仰の一側面―　劉 琳琳（北京大学外国語学院日本語学部准教授）

Ⅳ 近代～現代

伊勢における神仏分離　河野 訓（皇學館大学副学長）

神苑会の活動と明治の宇治山田　谷口裕信（皇學館大学文学部准教授）

修学旅行と伊勢　高木博志（京都大学人文科学研究所教授）

昭和四年式年遷宮と伊勢　田浦雅徳（皇學館大学文学部教授）

戦後の伊勢―プリント・メディアにみる神宮と式年遷宮―　ジョン・ブリーン

補論　浮遊する記号としての「伊勢」―日本史における伊勢神宮の多重性と神道の絶えざる再コード化―　ファビオ・ランベッリ（カリフォルニア大学サンタバーバラ校宗教学科教授）

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票	発行：思文閣出版	（京都 取引コード 3402）
冊数	冊	変容する聖地 伊勢 本体2,800円（税別） ISBN978-4-7842-1836-3
お名前		tel / e-mail
ご住所	〒	
送本方法	代引（書籍代＋消費税＋送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担） ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎	

本書HPのQRコード

怨霊・怪異・伊勢神宮
山田雄司著

古代・中世社会で大きな意味をもち、社会の底流で歴史を動かしてきた怨霊・怪異。早良親王・菅原道真・崇徳院などの怨霊や、様々に記録・伝承される怪異など、その諸相を歴史的に跡づける。さらには親鸞や伊勢神宮といった、神と仏をめぐる領域をも射程に入れて集大成する。

▶A5判・448頁／本体7,000円（税別）　ISBN978-4-7842-1747-2

平安時代陰陽道史研究
山下克明著

陰陽道の日本的特質とはなにか？ その成立・展開期である平安時代を中心に、仏教・神祇信仰と並ぶ宗教としての陰陽道のあり方、陰陽師たちの天文観測技術や呪術・祭祀など活動の実態とその浸透、彼らの信仰などをさまざまな角度から明らかにする。陰陽師が残した日記である『承久三年具注暦』の翻刻を収める。

▶A5判・460頁／本体8,500円（税別）　ISBN978-4-7842-1780-9

神話・伝承学への招待
斎藤英喜編

桃太郎は、なぜ桃から生まれてくるのだろうか――その答えは『古事記』のなかにあった。これまで別々のジャンルで扱われてきた「神話」と「伝説」「昔話」について、総合的・学問的に研究する「神話・伝承学」。本書は11の章と７つのコラムにより、魅力ある「神話・伝承学」の世界へいざなう、格好の入門書。

▶A5判・266頁／本体2,300円（税別）　ISBN978-4-7842-1813-4

訓讀註釋 踐祚大嘗祭儀
皇學館大学神道研究所編

天皇一代一度の国家祭祀・大嘗祭の祭祀・儀式の全貌を示す、最も古い確かな文献である『儀式』（貞観儀式）。本書は、皇學館大学神道研究所が長年に亙り取り組んできた、現存本『儀式』巻二・三・四「践祚大嘗祭儀　上・中・下」の訓読・注釈研究の成果。皇學館大学創立百三十周年・再興五十周年記念出版。

▶B5判・890頁／本体15,000円（税別）　ISBN978-4-7842-1619-2

天下人の神格化と天皇
野村玄著

豊臣秀吉や徳川家康の神格化が、なぜ近世前期の政治過程において要請され、それらはどのように実現したのかを解明し、そこでの天皇・朝廷の行動と意味を再検討するとともに、その後の徳川将軍家が天下人の神格や天皇・朝廷といかに向き合ったのかを、綱吉期までを視野に入れ叙述する。

▶A5判・384頁／本体7,000円（税別）　ISBN978-4-7842-1781-6

神社継承の制度史
楢山林繼・宇野日出生編　　神社史料研究会叢書Ⅴ

古代より近代にいたるまで神社が継承されてきた諸問題について、主に制度史としての視点で論究した珠玉の論文９篇。

【内容】名神の研究／石清水八幡宮の祭祀と僧俗組織／若狭彦神社の神仏関係／吉田兼右の神道伝授と阿波賀春日社／中近世移行期伊勢神宮周辺地域の経済構造／御棚会神事と賀茂六郷　ほか

▶A5判・348頁／本体7,500円（税別）　ISBN978-4-7842-1418-1

社寺造営の社会史
山本信吉・東四柳史明編　　神社史料研究会叢書Ⅱ

古代から近世にいたる社寺造営が持つ政治・経済的側面に焦点をあて、一級史料を駆使して、その歴史的意義と実態を明らかにした研究論集。【内容】神社修造と社司の成立／建武新政期における東大寺と大勧進／金沢御堂創建の意義について／戦国期能登畠山氏と一宮気多社の造営／中近世移行期における寺社造営の政治性　ほか

▶A5判・312頁／本体6,500円（税別）　ISBN4-7842-1051-2

幕末維新期の陵墓と社会
上田長生著

陵墓に政治的意味を付与し、祭祀を行おうとする政治権力（朝廷・山陵奉行）と在地社会の軋轢・葛藤が最も明確に現れた陵墓管理・祭祀に注目する。社会における天皇の位置づけや天皇認識を町・村社会の具体的なレベルから広範囲かつ実態的に描き出し、幕末の天皇・朝廷と社会の関係を解明する。

▶A5判・400頁／本体6,200円（税別）　ISBN978-4-7842-1604-8

神仏習合の歴史と儀礼空間【オンデマンド版】
嵯峨井建著

日本宗教史の基本位置にある神道と仏教との関わりを、祭祀・法会の空間である神社・寺院の儀礼空間を視点に論じ、神仏習合の実態を明らかにする。仏への天皇行幸、中近世をつうじた京都における神仏習合など、豊富な事例とともに神仏習合の諸形態を丹念にまとめた実証研究。オンデマンド版（初版2013年）

▶A5判・430頁／本体8,600円（税別）　ISBN978-4-7842-7000-2

※増補 陰陽道の神々
斎藤英喜著　　佛教大学鷹陵文化叢書17

コロンビア大学での発表をもとにした論考“牛頭天王の変貌と「いざなぎ流」”を収録して増補再版。疫神や式神、泰山府君、牛頭天王、八王子、金神、盤牛王、そして式王子、呪詛神たち……。彼らは近代社会が封印し、消去した「陰陽道」の神々である。本書は、知られざる陰陽道の神々の来歴と素顔を平易に説く。

▶46判・356頁／本体2,300円（税別）　ISBN978-4-7842-1644-4

阿蘇下野狩史料集
飯沼賢司編

源頼朝の富士の巻狩りを手本とされ、中世に行われた焼き狩神事の「下野狩神事」は、阿蘇宮最大の重要行事である。その史料である、永青文庫所蔵『下野狩日記』『下野狩旧記抜書』とその関連文書、阿蘇家所蔵下野狩関連史料を翻刻。解題、用語解説を付す。

▶A5判・314頁／本体7,500円（税別）　ISBN978-4-7842-1611-6

※王権と神祇
今谷明編

実証的研究の蓄積が少ない天皇制や大嘗祭、また権門体制論・顕密体制論によって規制されがちな中世神祇史について、実態面の研究を積み重ね、さらに中世日本紀や神道書の考証も重ね合わせることにより、王権と宗教に関する新たな見取り図を描き出すことを目指した意欲的な論集。

▶A5判・348頁／本体6,500円（税別）　ISBN4-7842-1110-1

※権者の化現 天神・空也・法然
今堀太逸著　　佛教大学鷹陵文化叢書15

日本国の災害と道真の霊・六波羅蜜寺の信仰と空也・浄土宗の布教と法然伝の３部構成で、仏・菩薩が衆生を救うためにこの世に現れた仮の姿について明かす。【内容】日本太政威徳天と道賢／醍醐天皇不予と清涼殿霹靂／北野廟堂の創建／六波羅蜜寺と道俗貴賤／空也の生涯と活動／女人教化譚の成立／老病と臨終の絵解き　ほか

▶46判・312頁／本体2,300円（税別）　ISBN4-7842-1321-X

祭礼と芸能の文化史
藺田稔・福原敏男編　　神社史料研究会叢書Ⅲ

神社史料の有効活用・研究の深化普及を目的として結成された神社史料研究会の研究成果から、神社を祭場・舞台として繰り広げられる祭礼と芸能を特集。【内容】神社廻廊の祭儀と信仰／相撲節会と楽舞／中世諏訪祭祀における王と王子／鹿島神宮物忌職の祭祀／越前志津原白山神社の祭礼芸能／武蔵国幕閣大名領における祭礼の振興　ほか

▶A5判・300頁／本体6,500円（税別）　ISBN4-7842-1159-4

近世の禁裏と都市空間
岸泰子著

禁裏が関係する信仰や儀礼の場・空間の特性に注目し、都市を基盤として存在した禁裏、禁裏によって形成・維持された都市、という両側面からなる近世京都の特性を中世・近代への展開も視野に入れて明らかにする。献史学や民俗学も視野に入れて近世京都の都市空間の特徴を多角的な視点から包括的に論じた一書。

▶A5判・320頁／本体6,400円（税別）　ISBN978-4-7842-1740-3

中世寺院社会と民衆 衆徒と馬借・神人・河原者
下坂守著

山門の嗷訴の検討から、山門の「惣寺」がどのような組織と機能をもつものであったかを明らかにしたうえで、足利義満以降の武家政権との関係や、近江坂本の在地人と日吉社の大津神人が山門の活動にどのような影響を与えたかを論じ、さらには、中世都市京都の変容についても、絵画史料を駆使して明らかにする。

▶A5判・432頁／本体7,500円（税別）　ISBN978-4-7842-1779-3

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年４回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。